

2019年度 施策マネジメントシート【2018年度実績評価】

作成: 2019年6月13日

施策番号 5-1-2	施策名 町民参加の促進	基本目標 町民が主役となった自治に基づくまちづくり		
		政策名 町民が主役となった地域づくり		
	主管課 企画財政課	課長名 石田 哲	内線 220	
	施策関係課 総務課			

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
町民がまちづくりへ参加しやすい環境づくりや、意識醸成により、自発的な参加を促進します。		町民	まちづくりに自発的に参加してもらう				町民の自己啓発を図り、自ら住みやすいまちづくりを創る意識を醸成する
成果指標		説明	単位	2011年度(策定時)	2017年度実績	2018年度実績	2018年度目標
① 実していると思う町民の割合	住民意識調査	%	未調査	49.6	46.1	50.0	
② まちづくり関連アンケートの回答割合	町民参加手続き結果	%	45.9	34.8	35.4	50.0	
③							
成果指標 設定の考え方	①後期実施計画策定時は未調査であったことから、他自治体の数値(25%程度)を参考に30%を目標としていたが、住民意識調査の状況を踏まえ、後期実施計画見直し時に目標を50%に上方修正した。 ②前期実施計画の目標を50%としており、前期期間中45~50%で推移してきたことから50%を目指す。						

2. 施策の事業費

	2017年度決算	2018年度決算
施策事業費（千円）	383	1,765
人工数(業務量)	0.0792	0.1322

3. 施策の達成状況

(1)施策の達成度とその考察			
①2018年度の成果評価 (前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	①の成果指標は前年度を下回ったが、②の成果指標は上回っており、「成果は変わらなかった」と評価した。
②第4期総合計画(後期実施計画)の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠 (理由)	①②とも、目標に到達していない、また、本施策の意図である「まちづくりに自発的に参加してもらう」という状況になったとは判断できないため、達成できなかったと判断した。
(2)施策の成果評価に対する第4期総合計画(後期実施計画)の事務事業総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	町民参加推進事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	めむろまちづくり参加条例に基づき、町民参加を推進した。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
				○	

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》 条例によって参加する機会が保障され、様々な機会が用意されているが、参加しない権利もある中で、その評価は難しい。</p> <p>《今後の予測》 町民参加は自主性の基で行われることが原則であることから、今後も多様な参加手法を検討していく必要がある。また、「町民参加の促進」と「徹底した情報公開と説明」の両施策は密接な関係にあり、双方を充実することが成果の向上につながるものであり、第5期総合計画においては、施策の統合を図った。</p>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画期間において新たに取り組むべき課題)

課題① 参加手続き情報の入手手段

行政情報の提供について、広報紙やすまいるボードだけでは限界があり、SNSなどインターネットなどを活用した様々な情報提供手段を検討する必要がある。

6. 総合計画推進委員会(府内評価)

評価	成果指標の割合がともに目標値を下回っており、策定時と比較して変わらなかったと評価する。	A	B	C	D	E
今後の取組に対する意見	参加手続き情報について、新しい情報提供手段を検討する必要がある。	進捗結果			○	

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	市民がまちづくりへ参加しやすい環境づくりはできているが、それが市民の自発的な参加の意識醸成には届いていないと考え、府内評価と同じく策定時と比較して変わらないと評価する。	A	B	C	D	E
今後の取組に対する意見	アンケートのほかに、子育ての施策であれば子育て世帯の集まる場所に行き意見をもらうといった、実際に意見を出してもらいたいところへ出向くなどのさまざまな参加手法で市民参加を進めてほしい。	進捗結果			○	

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した